大阪 富田林 2歳女児熱中症死亡事件 同居の男に懲役7年求刑

2023年11月29日 17時05分  
事件  
 去年6月、大阪 富田林市で、2歳の女の子が板で囲ったベビーサークルの中に置き去りにされ熱中症で死亡した事件で、保護責任者遺棄致死などの罪に問われている同居していた男の被告の裁判で、検察は「育児を放棄して旅行を楽しみたいなど動機は身勝手だ」として懲役7年を求刑しました。 去年6月、大阪 富田林市の団地で、置き去りにされた小野優陽ちゃん（当時2歳）が熱中症で死亡しました。▽祖母の小野真由美 被告（47）と▽同居していた桃田貴徳 被告（52）は優陽ちゃんの両腕と両足をテープで縛ったうえで、ベビーサークルの中に3日間にわたって閉じ込め、十分な水分や食事を与えず熱中症で死亡させたとして、保護責任者遺棄致死と監禁の罪に問われています。このうち、桃田被告の裁判は今月16日に大阪地方裁判所堺支部で始まり「私はベビーサークルの中に入れていない」などと述べ、無罪を主張しています。29日の裁判で、検察は「育児を放棄してユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅行を楽しみたいなど動機は身勝手で、空腹と脱水の状態で尊い命が奪われた結果は重大だ」と述べました。そのうえで「被告は優陽ちゃんを置き去りにする旅行を計画するなど果たした役割は大きい」として懲役7年を求刑しました。一方、弁護側は「当時、同居は解消していて、寝泊まりもしておらず、優陽ちゃんの養育は祖母の真由美被告らが行っていた」などとして、改めて無罪を主張しました。桃田被告に対する判決は来月13日に言い渡されます。一方、真由美被告の裁判は、来年1月から始まる予定です。 社会ニュース一覧へ戻る シェア